

# タンポポ調査

## 2010

### に参加してみませんか？

春になると、街かどや田んぼで、タンポポの黄色の花が目立ってきます。綿毛を吹いたこともあるでしょう。

タンポポには、いろんな種類があります。もとより日本にあった『在来種』と外国からやってきた『外来種』に大きく分かります。

今年は、5年ごとの調査の年。『タンポポ調査西日本2010実行委員会』（事務局：（社）大阪自然環境保全協会）が5年間の変化を調べるとともに、西日本19府県に広げて、タンポポ調査を行います。

よどがわ生協でも組合員さんや理事・行政区委員、環境グループと共に、住んでいる地域のタンポポ調査を行い、それに協力することになりました。

全体の結果報告は1年後となりますが、みなさんが協力していただいた情報でタンポポの分布図ができあがります。できあがった分布図はインターネットでも見ることができます。

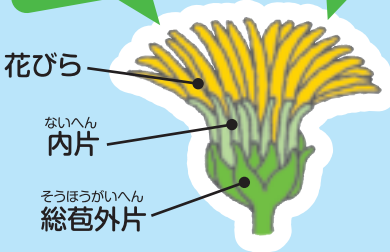
### 調査はすぐカンタン！

身のまわりでタンポポが咲いている場所に行つて、調査用紙に記入し、タンポポの花とタネ（実）をとってティッシュでくるんで返信用封筒に入れて配送担当者に渡してください。

協力いただける方に調査用紙をお届けします。まずはお電話ください。

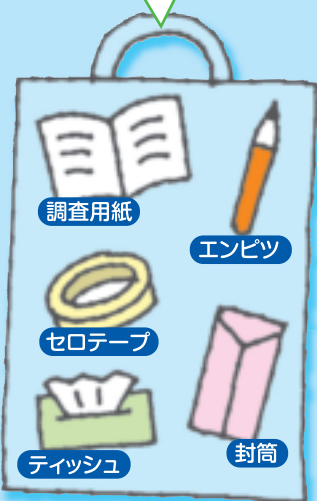
ティッシュでくるんで送るだけの簡単調査。こんなに気軽に参加できちゃうんだね。

みんなが協力するとよりくわしい分布図がかけられるんだよ。



お申込みお問い合わせ 組織部 06-6319-5619

### タンポポが咲いている場所を見つけよう



### 誰でも気軽に参加できます

### 袋に入れて調査に行こう！



タンポポをとった場所、住所がわからなかったら、目印になる公園・学校などを地図にかくといいネ。



NEWS FILE

## ニュースファイル

### 【玉ねぎ収穫とエコスクール】

#### 玉ねぎ農業体験第3弾

### 雑草とりに行つて来ました！

雨が降るかと思われた3月21日(日)に、昨年の9月の播種(種まき)体験から始まった玉ねぎ農業体験も3回目となりました。21名の参加者と共に、ピンクの桃の花が咲き始めた和歌山県紀ノ川農業協同組合を訪れました。

すでに畑では紀ノ川農協・宇田組合長が長靴姿で私たちを待っていてくださり「今月は、最近になく雨の多い月で日照時間も少ないのですが、玉ねぎの実は病気もなく順調に育っています。有機肥料で育てる難しさはたくさんありますが、生協の皆さんのためにも、また紀ノ川農業協同組合のためにも成功させたいと思います。」との話があった後、参加者たちはそれぞれ小さな雑草を抜き取る作業を行いました。



昼食後は、「お楽しみ体験」ということで、トマトハウスの中で5000株もの「株トマト」をご家族2人で育てている生産者の畑で、5月の中ごろには組合員さんの手元に届くトマトの植え付けを、お手伝いしました。

次回は5月30日(日)、いよいよ最後の「玉ねぎ収穫」に行く予定です。

#### 参加者の感想

前日、雨が降ったにも関わらず、抜いた玉ねぎの根についていた土が、ちよつと振るっただけで落ちたので、玉ねぎ畑の土の良さを実感しました。周りに生えていた草も柔らかい土で、しかも除草剤など撒かれていない所でしか見ることができない草が多かったので、組合長のお話しには信頼性がありました。

#### 環境グループ主催

### 親子でエコスクール工作編

#### 春

休みのイベントとして3月30日(火)、6組の親子が生協本部に集まって、「環境を守っていくためには、何をしたらいいの？」をテーマに、みんなが飲んだ後のペットボトルで「ケン玉作り」、牛乳パックで「UFOブローメラン作り」、毎日読んでいる新聞紙で「紙袋作り」を行いました。会場は3つのテーブルに別れて、好きな物から挑戦。「ケン玉作り」の所では、ガチャガチャの容器がケン玉のボールに、ペットボトルの口側をボールが入る容器にするため、みんなハサミを上手に使うて切ったり、切り口にきれいな色のテープを貼ったりと、とても楽しそうに作っていました。できあがると、親子でケン玉入れやUFOブローメラン遊びに夢中になってました。



高島さんの「タンポポ調査」のおはなし

その後、大阪自然環境保全協会が5年に1度大きな調査を行なっている「タンポポ調査西日本2010」に《よどがわ》も参加することになったので、同協会の高島(たかばたけ)耕一郎さんから、タンポポのカンサイタンポポと西洋タンポポの違いや採集方法の説明をしていただきました。タンポポ調査について詳しい内容は上記をご覧ください。